

平成 25 年 6 月 日

(名 称) 本別町地域公共交通会議

(代表者名) 会長 高 橋 正 夫

1 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

1) 地域内フィーダー系統確保維持事業の名称

「太陽の丘循環バス運行事業」

2) 目的・必要性

急激な過疎化、高齢化の進展、独居老人の増加が進むなかで地域公共交通路線の再編は喫緊の課題であります。

人口の減少に伴い、地域内におけるバス利用者は減少傾向にありますが、町民や町外からの利用者の足の確保を図るための地域公共交通の整備は、地域における市街地商店街の活性化や通院患者等の移動の確保の面からも、大変重要な問題であり、また町民・行政にとって有効かつ効率的な公共交通の運行体系へ見直ししつつ、町の財政負担の軽減も求められています。

本循環バスは、国保病院の移転に伴い、市街地区と国保病院を結ぶ循環バスとして、平成12年4月より運行しておりますが、通院のみならず、買物等の生活利便性を図るコミュニティバスとしての機能を向上させ、町民が安心して暮らせる交通環境を確保し、また、運行方法等の工夫により将来にわたり持続可能な公共交通サービスを行うことを目指すものであります。

2 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果

1) 事業の目標

通院時の利便性を確保しながら、生活面の利便性の向上を図るように運行計画を見直し、コミュニティバスとしての機能を向上させるとともに、将来にわたって町民が安心できる暮らしを支える公共交通を確保する。

また、広報活動の充実を図り、着実な利用の定着化とともに、町民が安心して誰もが利用しやすい環境の整備に努め、利用者増を目指した取り組みを行う。

< 具体の目標値 >

○太陽の丘循環バス利用者数

⇒平成 26 年度目標値：年間 17,190 人（前年度基準で 5% 増加）

〔平成 25 年度利用者見込み 16,372 人
H24.10～H25.3 実績（67.1 人/日）×244 日〕

○皆が利用できるバスへの認知度

⇒平成 26 年度目標値：町民の 80% 以上

○運行にかかる費用（実車走行キロ当たりの経常費用）

⇒平成 26 年度目標値：平成 24 年度（346 円 38 銭）と同等かそれ以下

2) 事業の効果

コミュニティバスの運行を維持することにより、市街地区における移動手段が確保されることで、当該地域の利便性確保はもとより、地域の活性化も図られる。

3 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

・別添の表1のとおり

4 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及び負担額

・別添の表2のとおり

5 別表4の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

・地域内フィーダー系統確保維持計画のため記載なし

6 別表4の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

・該当しないため記載なし

7 地域公共交通確保維持事業を行う地域の概要

・別添の表5のとおり

8 車両の取得に係る目的・必要性

・車両の取得を行わないため記載なし

9 車両の取得に係る定量的な目標・効果

・車両の取得を行わないため記載なし

10 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者

・車両の取得を行わないため記載なし

1 1 協議会の開催状況と主な議論

- ・平成24年1月の会議において、地域公共交通確保維持改善事業費補助金活用において承認。
- ・平成24年7月の会議において、地域内フィーダー系統確保維持計画を承認。
- ・平成25年4月の会議（書面協議）で、平成25年度当該事業の事業評価（自己評価）について協議。特に意見なし。
- ・平成25年6月の会議において、地域内フィーダー系統確保維持計画を承認。

1 2 利用者等の意見の反映状況

・太陽の丘循環バスの運行については、平成22年度に地域公共交通活性化・再生総合事業（調査事業）により、試験運行やアンケート等の各調査により利用者ニーズの把握を行っており、バス利用者からの要望等については、運行管理担当課もしくは当会議事務局において随時受け付け、路線の見直し等には考慮している。また、本計画は地域公共交通会議において承認されたものであり、会議構成員として、自治会連合会会長が参加、協議に加わっていただいていることから、公共交通利用者（町民）の意見が一定程度反映されているものと認識している。

1 3 協議会メンバーの構成

- ・別紙のとおり

本別町地域公共交通会議名簿

【H25.6.24】

所 属	職 名	氏 名	所属先住所	備 考
本 別 町	本別町長	高橋 正夫	089-3392	会 長 職務代理
	本別町副町長	砂原 勝	本別町北 2 丁目	
	教育委員会教育次長	竹田 稔		
	建設水道課長	横田 仁志		
	健康管理センター事務長	吉井 勝彦		
	企画振興課長	川本 秀二		
十勝バス株式会社	旅客事業本部長	長沢 敏彦	080-2463 帯広市西 23 条北 1 丁目 1 番 1 号	
本別ハイヤー 有限会社	専務取締役	白木 智康	089-3334 本別町北 5 丁目	
有限会社 北海陸運	代表取締役	小川 哲也	089-3321 本別町上本別 10 番地 3	
毎日交通 株式会社	代表取締役	千葉 元逸	080-1182 帯広市川西町基線 24 番地 13	
十勝地区 バス協会	事務局	山本 康友	080-2463 帯広市西 23 条北 1 丁目 1 番 1 号 (十勝バス(株)内)	
十勝地区 ハイヤー協会	常務理事	塚本 俊二	080-0846 帯広市緑ヶ丘 8 丁目 1 番地	
住 民 代 表	自治会連合会会長	三枝 金作	089-3334 本別町北 6 丁目	
北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	桑山 秀也	080-2459 帯広市西 19 条北 1 丁目 8 番 4 号	
	運輸企画専門官	中野渡剛志	〃	
北海道地方交通 運輸産業労働組 合協議会十勝地 区交運労協	事務局長	前田 英司	080-2463 帯広市西 23 条北 1 丁目 5	
北 海 道 十勝総合振興局	地域振興部地域政策課長	吉田 健二	080-8588 帯広市東 3 条南 3 丁目	

事 務 局	企画振興課長補佐	倉崎 景一		
	企画振興課主査	小川 芳幸		
	企画振興課主任	多田真喜子		